

第 48 回沖繩平和行進に参加して

関東地方本部横浜支部青年部 鈴木 脩平

恥ずかしながら沖繩に対して、海が綺麗で観光地というイメージしかありませんでした。今回沖繩平和行進に参加させてもらい、沖繩の現状を含め米軍基地や戦争でこんなにも苦しむ人がいることを知り、とても勉強になりましたし貴重な体験をさせてもらいました。

4 日間工程の 2 日目の行進では県内外からたくさんの方々が平和行進に参加し、皆で声をあげ団結しながら沖繩の現状を訴え、こういった 1 人 1 人の思いを言葉にし現地を歩く事には大変意味がある事だと感じました。

私は、普天間コースを歩きましたが基地の面積がとっても大きく自分の足で歩き大きさを実感しました。

沖繩での基地問題は沖繩だけの問題でなく本土の問題でもあるという言葉聞いて、本当にその通りだと思うと同時に米軍基地がある事でたくさんの事件が起きていますし、一刻も早く米軍基地の撤退を訴えていきたいと思いました。

3 日目は各地を視察し、今も残る戦争の生々しい傷跡、平和祈念公園での慰霊碑や平和祈念資料館では沖繩戦で実際に使われていた物や当時の写真や色々な資料をみてとてもいたたまれない気持ちになりました。

ひめゆりの塔では、学徒隊が編成され卒業前の生徒や教師合わせ 240 名が戦場に派遣されその内 136 名が亡くなり銃弾やミサイルが飛ぶ中必死に食料や水を取りに行ったりまた、急な解散命令で戦場に放り出され飛躍的に死者が出たと聞き、もう二度と戦争を起こしてはいけないと心から思いました。

私を含めこれから産まれてくる子供たちや戦争を知らない世代がどんどん増えてきて知らない方が幸せなのかも知れませんが、戦争での悲惨な現状などを伝えていかなければいけないと思いました。